

2021年3月31日

各位

株式会社りそな銀行

## 「サステナビリティ・リンク・ローン」による融資の実行について

りそなグループのりそな銀行（社長 岩永 省一）は、お客さまとともに持続可能な社会を目指す取り組みの一環として、株式会社ツバキ・ナカシマ（取締役兼代表執行役社長CEO 廣田 浩治）に対して、「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下「SLL」）による融資を本日実行しました。

SLLとは、環境・社会・経済に対するお客さまの事業活動による影響を考慮した「サステナビリティ戦略」と整合した目標（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット 以下「SPT」）を定め、達成状況に応じて金利等の融資条件が連動する借入手法です。

## ➤ SLLのアレンジメントは当社初！

株式会社ツバキ・ナカシマは自動車などに使用されるベアリング向けの精密ボールの製造を主な事業としており、今回自社の成長と社会への貢献を同時に実現するため、省エネルギーへの貢献度が特に高い「セラミックボール」の売上高をSPTに設定しました。また株式会社格付投資情報センターよりSPTの合理性等についてセカンドオピニオンを取得しています。

## 【スキーム図】



## 【サステナビリティ・リンク・ローンの概要】

契約締結日	2021年3月31日
借入金額	50億円
借入期間	7年
資金用途	長期事業資金
外部レビュー機関	株式会社格付投資情報センター（R&I）※

※2 セカンドオピニオンについては、株式会社格付投資情報センターのホームページをご参照ください。

りそなグループは2018年11月に「2030年SDGs達成に向けたコミットメント(Resona Sustainability Challenge2030)」を公表し、環境・社会課題の解決に向けた取り組みを積極的に推進しています。その中で、手数料の一部をSDGs関連団体への寄付に活用する「SDGs推進私募債」やグリーンプロジェクトに用途を限定した「私募グリーンボンド」などを取り揃えており、今後も積極的に取り組んでまいります。

以上